

武雄領が

スゴい!

地球儀

トッペンケンス「オランダ陸軍の服装と武装」より

日本を動かす
武雄の洋学資料



武雄鍋島家洋学関係資料
重要文化財指定

10周年

文書・記録類 1,304 点、標本類 4 点、
和書・訳書類 284 点、洋書類 133 点、
絵図・地図類 36 点、図面類 159 点、
写真 7 点、器物類 297 点の全 2,224 点!

重要文化財って?

日本に所在する有形文化財のうち、歴史上・芸術上の価値の高いもの、または学術的に価値の高いものとして文化財保護法に基づき日本国政府（文部科学大臣）が指定した文化財を指します。

「武雄鍋島家洋学関係資料」は、武雄領主であった鍋島家に伝わった洋学関係資料群で、2,224 点もの資料が良好な状態で残されています。日本がオランダと貿易を行っていた時代、長崎の出島を通して輸入された西洋の品々は観賞用として集められることがほとんどでしたが、武雄領では学術資料として活用し、洋学研究に励みました。幕末期における日本の西洋学術・科学技術、また軍事技術・兵学の発達史において貴重な資料群に位置付けられ、大きな価値があるといわれています。